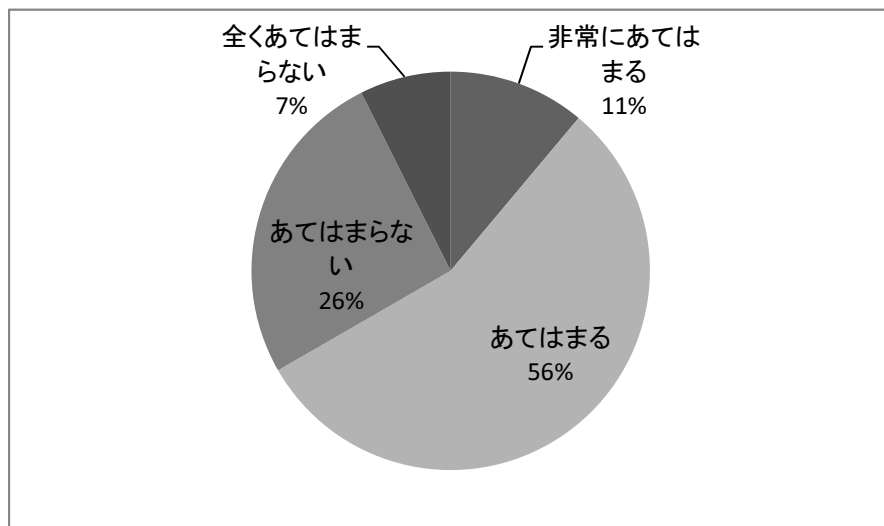


〈別科〉

Q54 大学の教育にまとまりがあり、一貫性があった

	(人)	(%)
非常にあてはまる	3	11.1
あてはまる	15	55.6
あてはまらない	7	25.9
全くあてはまらない	2	7.4
計	27	100.0



【自由記載】

なし

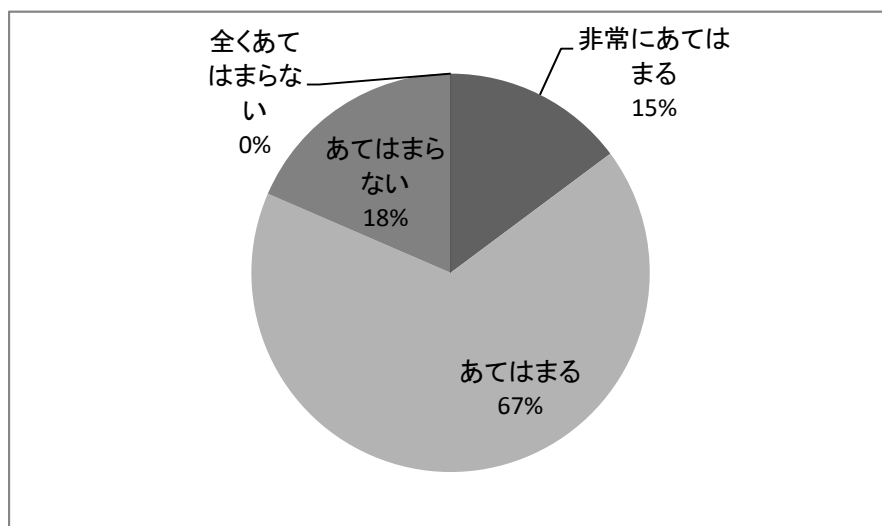
評価・改善策

学部教育に関することであり、別科は該当しない。

〈別科〉

Q56 専門指示科目または関連科目に満足していた

	(人)	(%)
非常にあてはまる	4	14.8
あてはまる	18	66.7
あてはまらない	5	18.5
全くあてはまらない	0	0.0
計	27	100.0



【自由記載】

なし

#### 評価・改善策

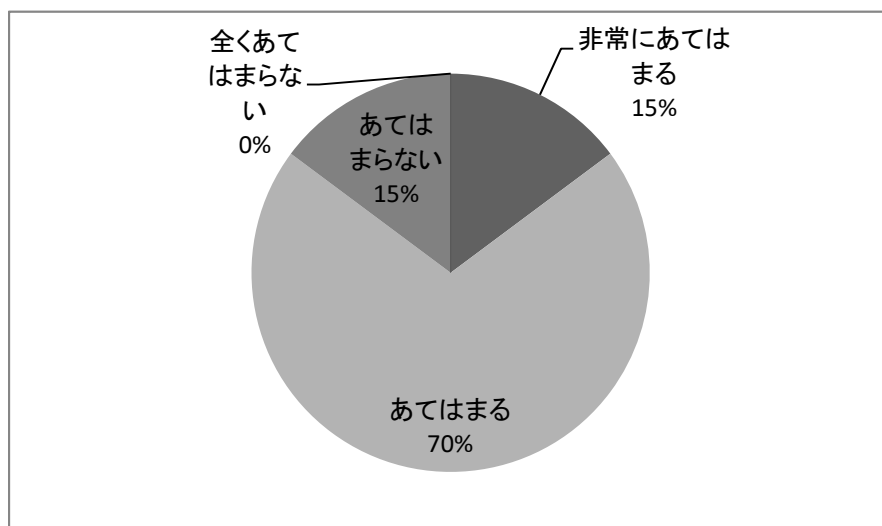
22名(81.5%)があてはまると回答しているが、5名(18.5%)の学生があてはまらないとしている。

ほとんどの学生が満足しているとしていることから概ねいい評価ではあるが、満足していない学生もいるため、授業評価等も活用しながら、講義内容・方法の検討が必要である。

〈別科〉

Q57 専門科目講義またはコア科目講義に満足していた。

	(人)	(%)
非常にあてはまる	4	14.8
あてはまる	19	70.4
あてはまらない	4	14.8
全くあてはまらない	0	0.0
計	27	100.0



【自由記載】

なし

#### 評価・改善策

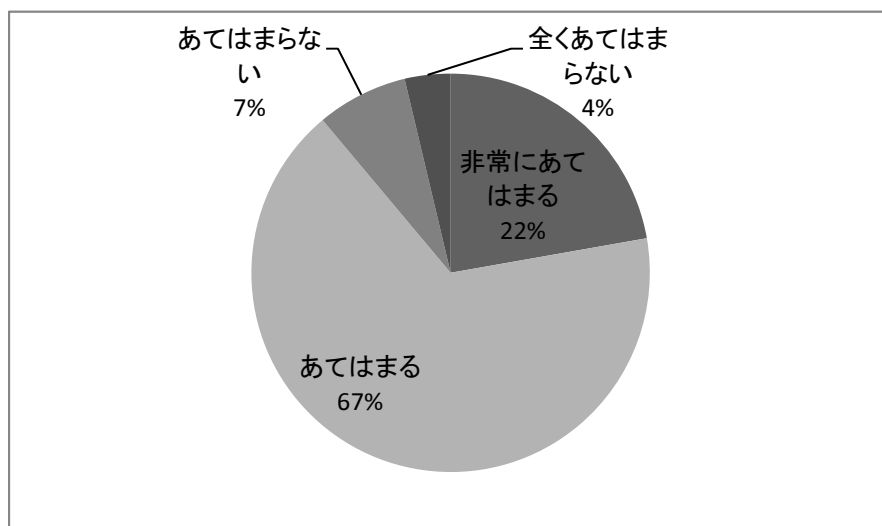
23名(85.2%)があてはまると回答しているが、4名(14.8%)の学生があてはまらないとしている。

ほとんどの学生が満足しているとしていることから概ねいい評価ではあるが、満足していない学生もいるため、授業評価等も活用しながら、講義内容・方法の検討が必要である。

〈別科〉

Q 58 専門科目演習またはコア科目演習に満足していた

	(人)	(%)
非常にあてはまる	6	22.2
あてはまる	18	66.7
あてはまらない	2	7.4
全くあてはまらない	1	3.7
計	27	100.0



【自由記載】

なし

#### 評価・改善策

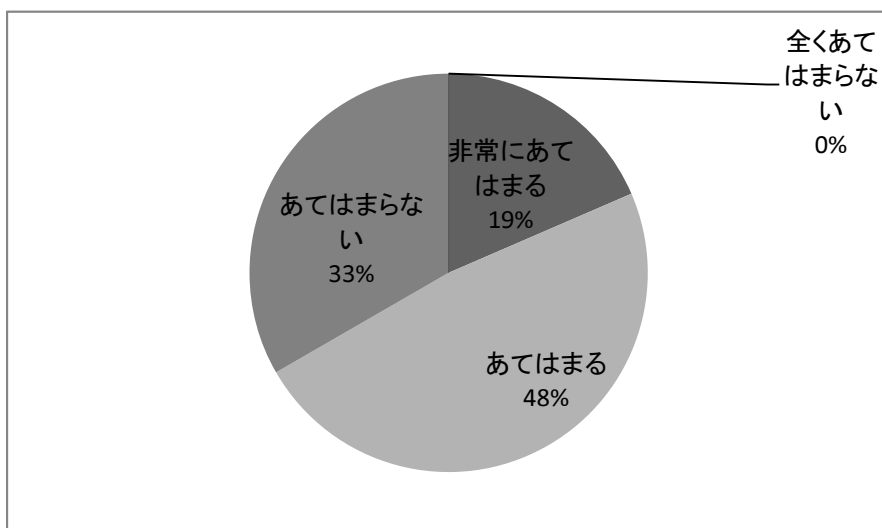
24名(88.9%)があてはまると回答しているが3名(11.1%)の学生があてはまらないとしている。

ほとんどの学生が満足しているとしていることから概ねいい評価ではあるが、満足していない学生もいるため、授業評価等も活用しながら、演習内容・方法の検討が必要である。

〈別科〉

Q59 臨地実習に満足していた

	(人)	(%)
非常にあてはまる	5	18.5
あてはまる	13	48.1
あてはまらない	9	33.3
全くあてはまらない	0	0.0
計	27	100.0



【自由記載】

家から遠い所で、移動手段に困った。

評価・改善策

18名(66.6%)があてはまる、9名(33.3%)があてはまらないとしている。

満足していない学生が3割いる。自由記載に自宅からの距離をあげているが、別科では出来る限り自宅から近い実習施設に学生を配置しており、施設の立地と学生の居住地によってはやむを得ない状況がある。

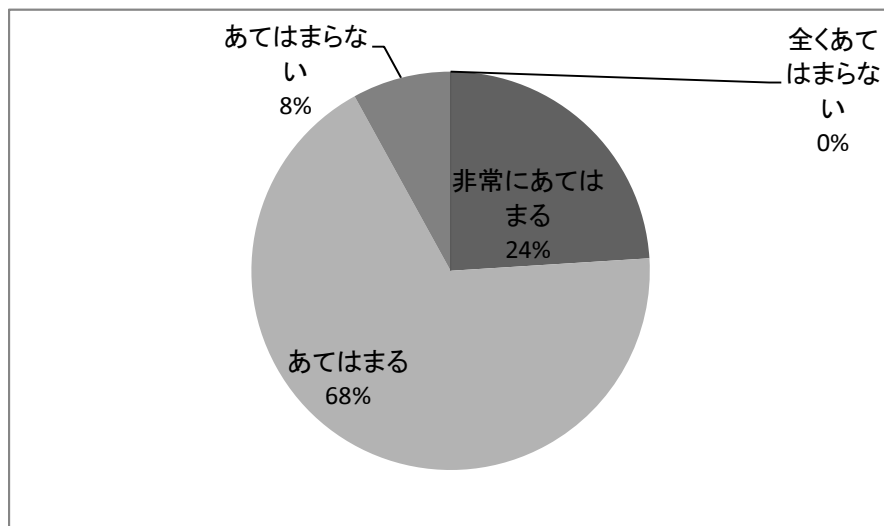
聞き取りでは、助産実習で夜間オンコールがあるにも関わらず、学生の自家用車を停める駐車場がなく個人的に駐車場を借りた。駐車場がある施設もあり不公平であるとの意見があった。施設に依頼し、可能な限り学生も駐車できるようにしているが、施設の状態もあるため限界がある。また、助産実習において施設によって医師の協力が得られず分娩介助で苦勞した、臨床指導者が指導についてくれなかった、学生が記録をする場所(控え室等)を確保してほしい、延長があったとの回答があった。毎年、学生の学習環境を整えるため各施設と調整を行ったり、学生配置数を変更したり、場合によっては施設を変更する等して対応している。

他に離島実習においては、船便での移動がきつかった、時期が国試と近く準備などが大変だったとの回答があった。移動手段としては、H21年度以降は往復航空便に変更し改善を行ったが、時期については他の実習との関わり等もあり変更は難しい。

〈別科〉

Q60 卒業論文または助産研究に満足していた

	(人)	(%)
非常にあてはまる	6	24.0
あてはまる	17	68.0
あてはまらない	2	8.0
全くあてはまらない	0	0.0
計	25	100.0



【自由記載】

なし

**評価・改善策**

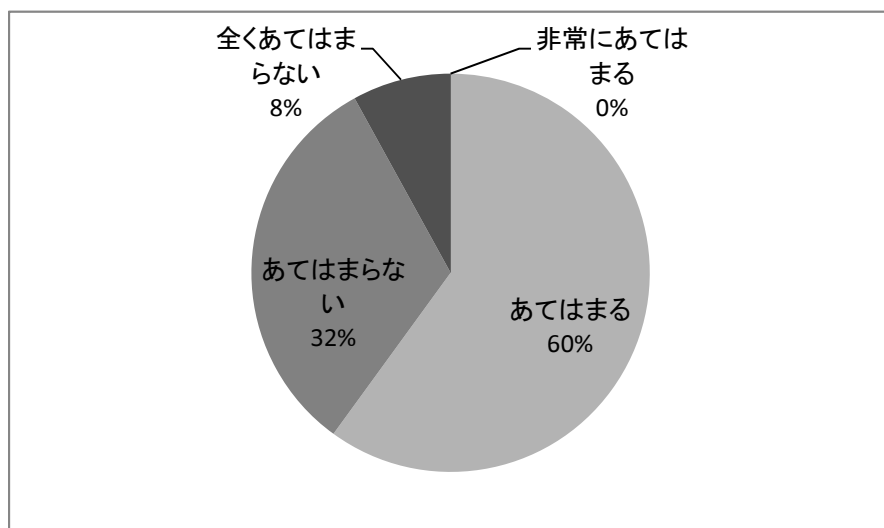
23名(92.0%)があてはまると回答している。

ほとんどの学生が満足していると回答しており、前期に文献研究を行い、後期に助産実習で関わった事例について事例研究を行うという、現在の展開方法を継続していく。

〈別科〉

Q63 研究の導入 I・II または研究への導入に満足していた

	(人)	(%)
非常にあてはまる	0	0.0
あてはまる	15	60.0
あてはまらない	8	32.0
全くあてはまらない	2	8.0
計	25	100.0



【自由記載】

先生の求めていることがよく分からない。  
授業内容が結びつかない面があった

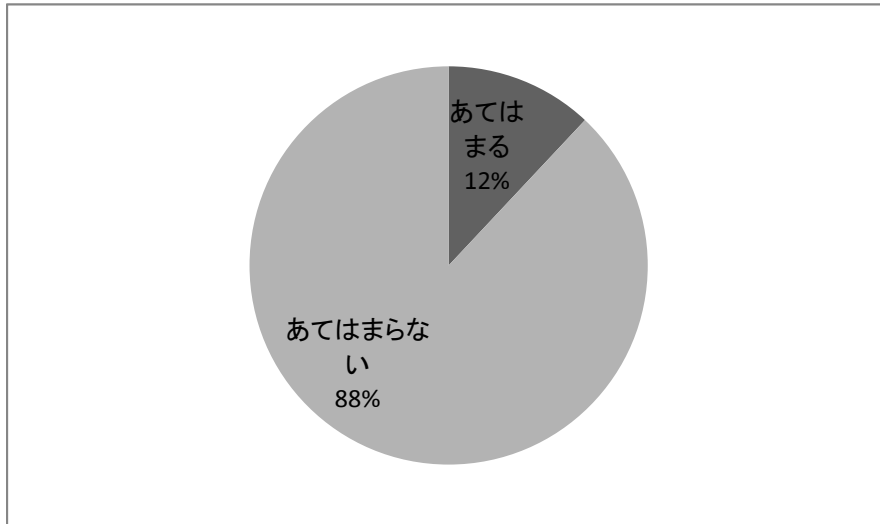
評価・改善策

10名(40.0%)があてはまらないとしている。  
満足していない学生が4割おり、学生に理解度にあつた授業方法を検討する必要がある。

〈別科〉

Q64 不足していた科目・学習内容があった

	(人)	(%)
あてはまる	3	12.0
あてはまらない	22	88.0
計	25	100.0



【自由記載】

女性器疾患:

カウンセリングの授業みたいになっていた。

ウイメンズヘルス:

自分たちで学習するには不十分。もっと深い助言や学びが欲しかった。

生命倫理:

本を読むだけで終わることが多かった

助産実習:

助産所の実習を希望

評価・改善策

22名(88%)があてはまる、3名(12%)があてはまらないとしている。

約9割の学生が不足している内容はないと感じているが、数名は不足を感じている。自由記載にある科目については下記のように考える。

ウイメンズヘルス(女性生殖器疾患含む):受け入れ方針で「主体的に学ぶ能力を持つ者」と掲げているので、オリエンテーションの際に学生への導入方法を検討する。

生命倫理:担当教員で情報交換し、分担内容の検討を行う。

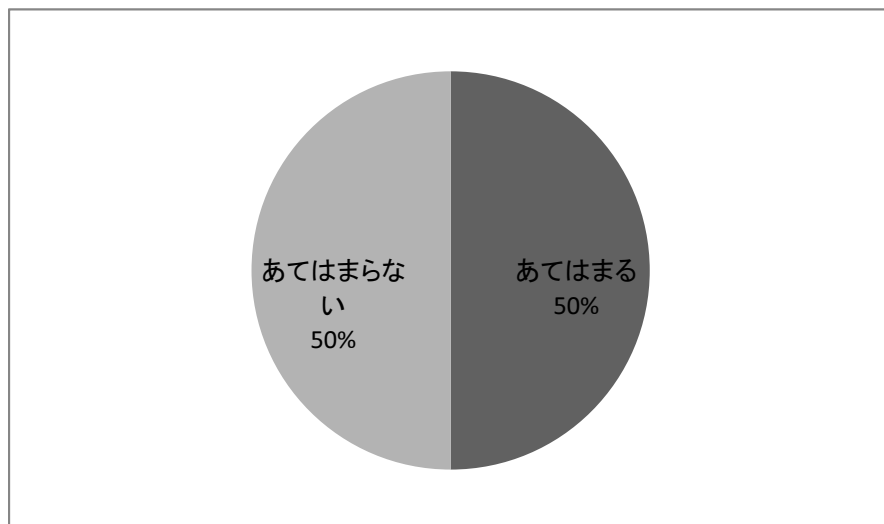
助産実習:助産所実習が行える施設がほとんどなく、現状では実習を行うことは困難である。



〈別科〉

Q65 重複していた科目があった

	(人)	(%)
あてはまる	12	50.0
あてはまらない	12	50.0
計	24	100.0



【自由記載】

なし

#### 評価・改善策

12名(50.0%)の学生があてはまるとしている。

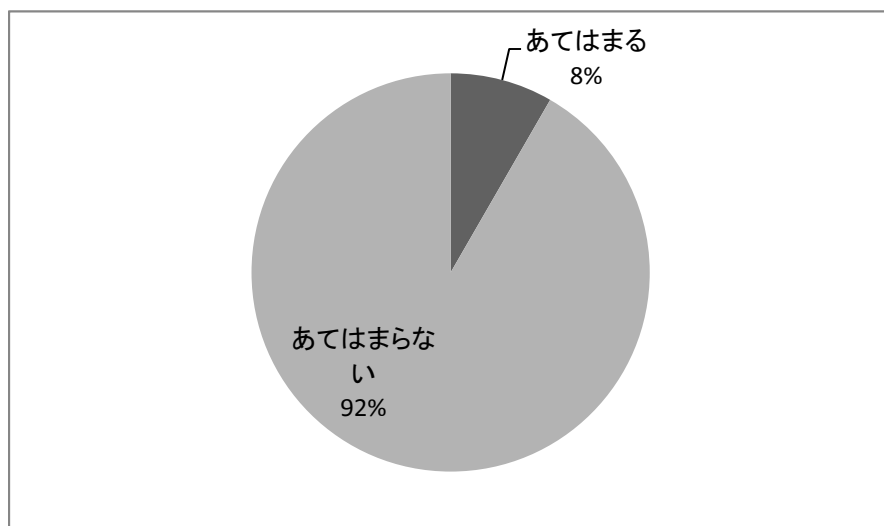
半数の学生が重複していた科目があったと回答しているが、別科のカリキュラムでは各科目の関連性が強く、内容の重複もやむを得ない。とくに重要な内容については重複が必要である。入学時の教育過程の説明時に学生へ内容の重複についての理解を促す。

聞き取りでは、重複しないと科目と科目のつながりがイメージできないので、重複があつてよかったとの意見があつた。

〈別科〉

Q 66 本学の特徴として残したい科目があった

	(人)	(%)
あてはまる	2	8.3
あてはまらない	22	91.7
計	24	100.0



【自由記載】

なし

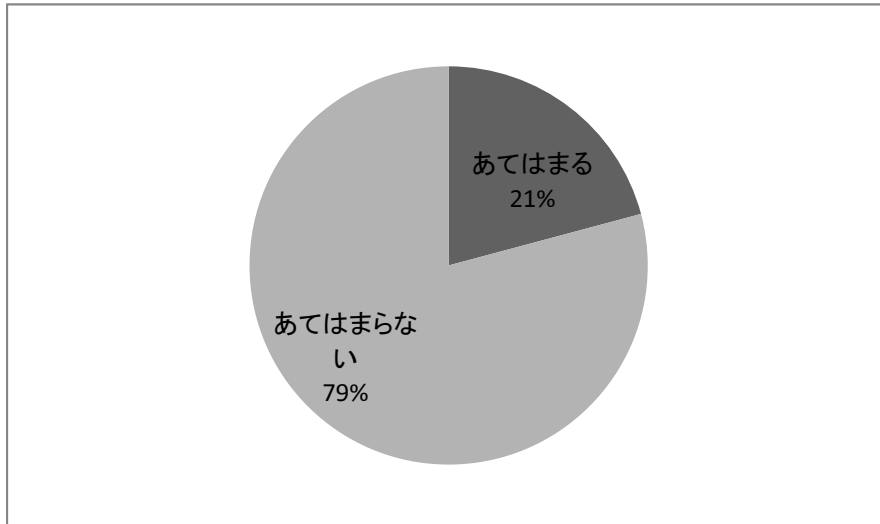
評価・改善策

自由記載がないため、評価ができない。

〈別科〉

Q67 教育方法を改善してほしい科目があった

	(人)	(%)
あてはまる	5	20.8
あてはまらない	19	79.2
計	24	100.0



【自由記載】

研究の導入：先生の求めていることがよく分からない。  
研究への導入：短期間では習得するには難しい。  
研究への導入：実際の研究に活用するには適していなかった。  
湧谷先生の授業：疾患についての勉強になっていない気がする。  
助産管理：不必要な内容があったと思う

評価・改善策

5名(20.8%)の学生があてはまるとしている。

研究への導入：Q63の評価と同様。

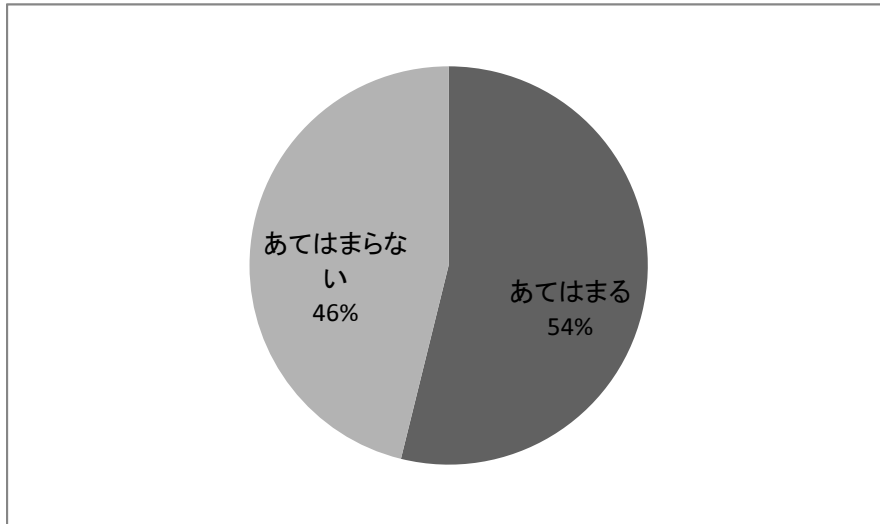
湧谷先生の授業：授業のほとんどがPBLで進んでいくため、Q64の自由記載にもあるように学生としては学んでいるという感覚が少ないのではないかとと思われる。受け入れ方針で「主体的に学ぶ能力を持つ者」と掲げているので、オリエンテーションの際に学生への導入方法を検討する。

助産管理：授業評価と合わせて検討する必要がある。

〈別科〉

Q68 時間数を増やしてほしい科目があった

	(人)	(%)
あてはまる	14	53.8
あてはまらない	12	46.2
計	26	100.0



【自由記載】

助産診断・技術演習、基礎助産学演習:もっと時間をかけて、内容深く学びたい。  
(一番活用していく部分だと思うので)

評価・改善策

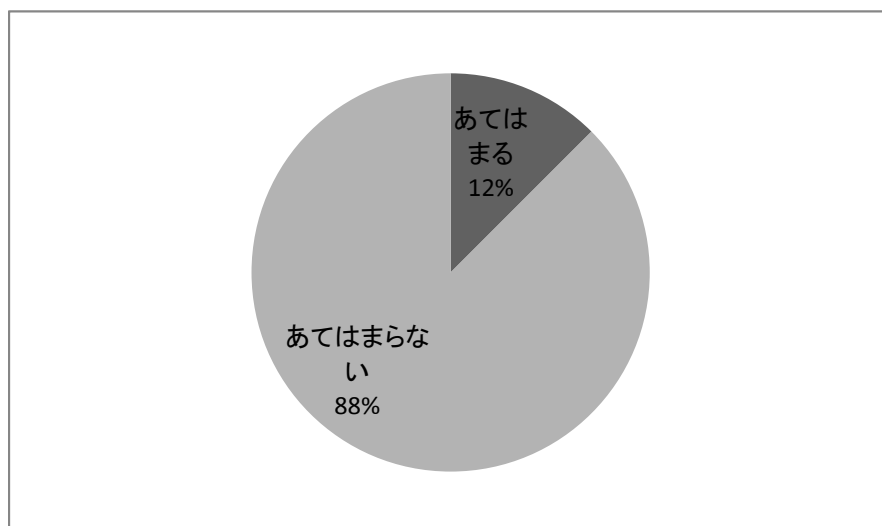
14名(53.8%)の学生があてはまるとしている。

時間数を増やしてほしい科目としてあがっている科目は演習科目である。助産診断・技術学演習と基礎助産学演習については、平成24年度からの新カリキュラムで単位数(時間数)の増加や内容の充実を図っている。その評価については、平成24年度以降の授業評価等で再度検討していく必要がある。

〈別科〉

Q69 時間数を減らしてほしい科目があった

	(人)	(%)
あてはまる	3	12.5
あてはまらない	21	87.5
計	24	100.0



【自由記載】

生命倫理:

授業の内容が教科書を読ませるだけ。外部の先生が来てやる意味がなかったと思う。

保健情報学習:

目的以外の学習も含まれていたから。

評価・改善策

3名(12.5%)の学生があてはまるとしている。

生命倫理についてはQ64の評価と同様。

保健情報学演習については、授業評価の分析を行い担当教員と調整する。